



大豆・麦栽培で想定される緑肥作物の特性

【1 成果の概要】

- (1) 大豆に対する緑肥は、ライムギ・ヘアリーベッチ・コムギの3種が利用できます。緑肥の播種時期は、大豆の黄葉期である9月下旬～10月上旬とします(表1)。
- (2) 小麦に対する緑肥は、ソルガム・クロタリヤ・ダイズの3種が利用できます。緑肥の播種時期は、小麦収穫後の7月中～下旬とします(表2)。
- (3) 上記の緑肥について、緑肥の生育量と鋤き込み後の分解特性を考慮し、イネ科緑肥は後作の播種1カ月前、マメ科緑肥は後作の播種2週間前までに鋤き込みます(表1、2、図1、2)。

表1 大豆向け緑肥の生育

緑肥	採取時期	生草重 (kg/10a)	乾物重 (kg/10a)	C/N比
ライムギ	5月上旬	1422	354	58.9
ヘアリー ベッチ	5月中下旬	1364	263	16.2
コムギ	5月上旬	1439	356	31.5

※供試品種：ハルミドリ(ライムギ)、寒太郎(ヘアリーベッチ)、ゆきちから(コムギ)

※播種日：10/3(H30)、9/26(R1)

5月上旬採取は大豆播種1カ月前

5月中下旬採取は大豆播種2週間前
の鋤き込みを想定しています。

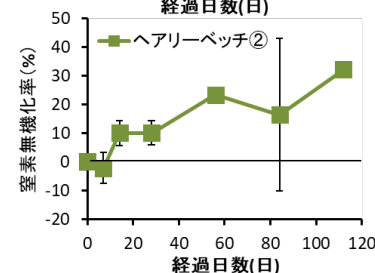
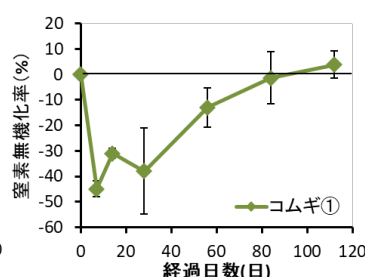
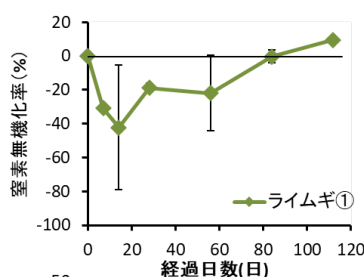


図1 各緑肥の見かけの窒素無機化率(%)

①：大豆播種1カ月前鋤き込み
②：大豆播種2週間前鋤き込み
を想定したデータ

表2 小麦向け緑肥の生育

緑肥	採取時期	生草重 (kg/10a)	乾物重 (kg/10a)	C/N比
ソルガム	9月上旬	3098	440	56.2
クロタリヤ	9月下旬	2924	388	17.0
ダイズ	9月下旬	2131	566	12.4

※供試品種：つちたろう(ソルガム)、ネマックス(クロタリヤ)、リュウホウ(ダイズ)

※播種日：7/23(H30)、7/17(R1)、7/20(R2)

9月上旬採取は小麦播種1カ月前

9月下旬採取は小麦播種2週間前
の鋤き込みを想定しています。

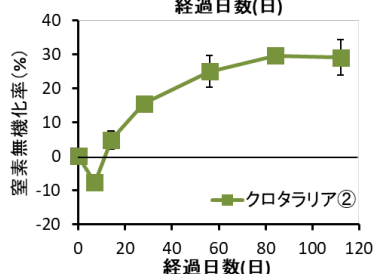
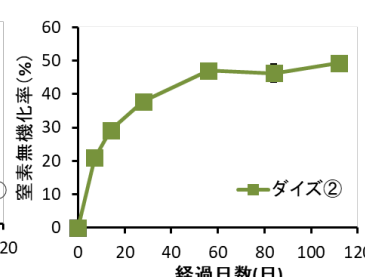
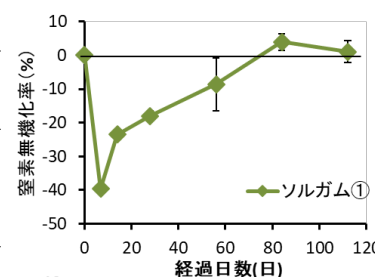


図2 各緑肥の見かけの窒素無機化率(%)

①：小麦播種1カ月前鋤き込み
②：小麦播種2週間前鋤き込み
を想定したデータ

【2 留意事項】

- (1) 本試験は、可給態窒素量が低い圃場で無施肥で緑肥を作付した場合の結果です。
- (2) 今回試験で使用した緑肥は湿害に弱いので、転換畑で導入する際は排水対策が必要です。